

## 第 部 全国における地域別 CO<sub>2</sub> 排出量の比較分析

# 第1章 研究の目的と構成

## 1.1 研究の目的

地球温暖化問題の主要因の一つであるCO<sub>2</sub>の排出削減については、COP3、COP6等で議論されているように国際的な課題となっている。そして、我が国でも地球温暖化対策推進大綱が示され、環境省がCOP6包括合意を踏まえた新たな温暖化防止行動計画を作成する方向である等、重要な政策課題となっている。

こうしたCO<sub>2</sub>の排出削減については、これまで各省庁や地方自治体等において様々な取り組みが行われてきており、国土交通省においても各種の削減施策を実施してきたところである。その中で、CO<sub>2</sub>排出量の実態について、全国あるいは地域ブロックを一つの単位として算出した例は多くあるが、これを全国レベルで地域別に推計し、比較・分析した例は少ない。CO<sub>2</sub>排出の原単位は、気候や都市規模、都市構造によって地域別に異なるはずであり、これを比較・分析することは施策を検討する上で重要である。また、将来、全国的な人口分布が変化した場合、これがCO<sub>2</sub>排出量にどのような影響を与えるのか把握しておくことも必要である。

本研究においては、こうした背景にてらして、現在のエネルギー消費からみた地域別のCO<sub>2</sub>排出量及び原単位を全国レベルで把握した上で、地域特性との関連を分析する。また、将来の人口分布の変化を考慮した場合のCO<sub>2</sub>排出量の予測を行う。これらによって、今後の国土交通行政におけるCO<sub>2</sub>排出削減施策を検討するための基礎的資料を作成することを目的として実施する。

## 1.2 研究の構成

本研究は、以下の内容で実施した。

### 地域別・部門別のエネルギー消費・CO<sub>2</sub>排出量の推計

我が国におけるエネルギー消費・CO<sub>2</sub>排出の標準的データセットとして、かつ将来にわたる継続的なデータ作成を念頭に、既存の統計データ等を用い地域別・部門別のエネルギー消費・CO<sub>2</sub>排出量の推計手法の確立及びそれを用いた推計を行う。

### エネルギー消費・CO<sub>2</sub>排出原単位の検討及び地域間の比較・分析

作成された地域別・部門別の1人あたりCO<sub>2</sub>排出量について、地域の地理的条件や各種の社会経済条件等との関係において、地域別の比較・分析を行い、地域特性と原単位の関係を把握する。

### 将来におけるエネルギー消費・CO<sub>2</sub>排出量の予測

将来における人口分布を踏まえ、CO<sub>2</sub>排出量の将来予測を行う。

上記内容について、以降では下記フローに示す章構成で整理を行った。

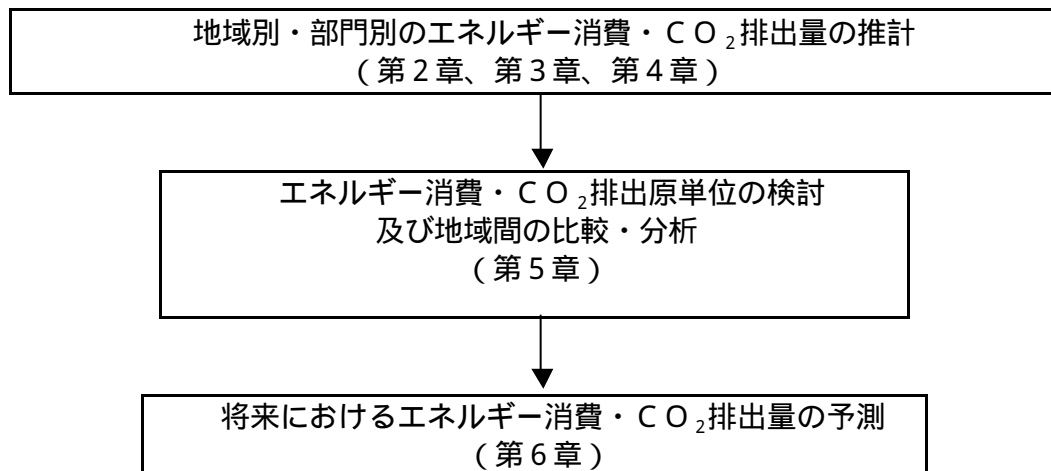


図1.2-1 研究構成フロー